

令和7年度

大阪市生涯学習まちづくり市民大学  
「いちようカレッジ」報告書

# まちづくり

# ④ たね



いちよう  
カレッジ

OSAKA CITY

まちの魅力を知りたい。まちの課題を解決したい。自分のできるコトからはじめたい。  
「いちようカレッジ」は、そんな人と、これからの「まちづくり」をいっしょに考えます。

## 今年度のいちょうカレッジ参加者

全 **13** コース のべ約 **1,000** 人



いちょう  
カレッジ

OSAKA CITY

「いちょうカレッジ」とは

**誰もが安心でき、住み続けたいまちをめざして**

それぞれがまちの「課題」をもち寄り、まちづくりの「ヒント」をもち帰る。いちょうカレッジがめざすのは、頼れるまちづくりのプラットフォームです。開かれた市民大学として、「学んだことを地域で生かす」をテーマに、学びと実践の循環を実現し、魅力的なまちづくりをサポートしていきます。

「やってみたい」が見つかる、講座・グループワーク・まち歩き体験などをはじめとした、入門科、プレ本科、本科、専科の4種類のコースからなる、体系的かつ多彩なカリキュラムで、あなたの学びたい気持ちを応援します。

# も く じ



## まちづくりの第一歩。まずは参加してみたい方へ

- まちづくり入門コース ～まちづくりってなんだろう?～…………… 4  
大阪を語ろう ～好きやねん大阪～コース



## 本科の雰囲気体験できるコース

- 大阪の魅力発見コース…………… 5  
**プレ講座** 「屋台」＝「場」を妄想しよう!  
～屋台という考え方を通して、自分のやりたいことを考えてみよう～



## 学んだことを地域で活かすためのコース

- 自分の場をつくるラボ ～アウトプットからはじめよう～コース…………… 6  
大阪の魅力発信コース…………… 10  
まちづくり探求ゼミ ～持続可能なまちづくりとは～…………… 14



## 地域活動に役立つ知識や技術にみかきをかける

- みんなで支えあうマンション防災コース…………… 18  
こどもと地域社会コース…………… 19  
市民活動団体応援コース…………… 20  
まちづくりプロジェクト共創コース…………… 21  
あべので考える 2,3人からできそうな企画づくりコース…………… 22  
まちと関わるきっかけコース 淀川区編…………… 23  
受講実績・アンケート結果…………… 24  
次年度のいちょうカレッジ・お問い合わせ…………… 26



入門科①

## まちづくり入門コース ～まちづくりってなんだろう？～

まちづくりとは何かを学び、自分とまちとの関りや、自分にできることについて一緒に考えました。

日時 7/12 土曜日 14:00～16:00 全1回

参加者数 会場参加23名・ライブ配信14名(計37名)

会場 総合生涯学習センター

講師 谷 亮治 博士(社会学)/専門社会調査士/京都市まちづくり協働コーディネーター/大学講師/劇団「めるり組合」作家

### 受講者の声 (アンケートより)

- 何かやってみたいという気持ちになりました。
- 地域交流を何から始めようかと思案中に、少し光が見えた気がします。



入門科②

## 大阪を語ろう ～好きやねん大阪～コース

参加者それぞれの大阪の魅力・思い出を気軽におしゃべりしながら共有し、これまで知らなかった大阪の魅力を講師と共に発見しました。

日時 7/15～7/22 毎週火曜日 14:00～16:00 全2回

参加者数 26名(のべ49名)

会場 総合生涯学習センター

1 7/15

### 様々な“モノ”から見る大阪の歴史と魅力

絵ハガキなどの資料を元に、大阪の名所・土地・建築などにまつわるエピソードを紹介し、受講者同士グループに分かれて自由に話し合う

2 7/22

### 大阪の思い出話をしませんか？

昔の写真アルバムや絵ハガキ、古地図や雑誌・新聞の切り抜きなど、大阪にまつわる「思い出の品」を持ち寄り、それぞれの思い出やエピソードを語り合う

陸奥 賢

観光家/  
コモンズ・デザイナー/  
社会実験者

### 受講者の声 (アンケートより)

- いろいろな話を聞いて勉強になったし、楽しかったです。グループでの話し合いも良かったです。
- 色々な話題から話が展開して行って、意外な話が聞けて良かった。



絵ハガキを実際に手にとって(第1回)



プレ本科

## 大阪の魅力発見コース

新たなまちの魅力を発見するための講師の様々なお話やワークショップ、まち歩き体験を通じて、大阪の魅力のを見つけ方を学びました。

**日時** 9/30～10/28 毎週火曜日(10/14を除く) 14:00～16:00 全4回

**参加者数** 26名(のべ89名) **会場** 総合生涯学習センター

- 1 9/30 **オリエンテーション/大阪のまちの魅力を考えよう**  
プレ本科コースと本科コースとの関係性の説明/まちの魅力を話し合うグループワーク
- 2 10/7 **大阪の歴史あれやこれや**  
大阪のまちへの視野を広げる、大阪の歴史や文化にまつわるお話
- 3 10/21 **感じてみよう大阪の歴史** **フィールドワーク**  
講師のガイドによるまち歩き体験(森之宮周辺)
- 4 10/28 **まとめ/まち歩きスゴロクを体験してみよう**  
各回の振り返りとまち歩きスゴロクの体験

陸奥 賢  
観光家/  
commons・デザイナー/  
社会実践者



グループワーク(第1回)



大阪城にまつわるお話(第2回)



講師のガイドでまち歩き(第3回)

### 受講者の声 (アンケートより)

- いろいろな人と交流できた。自分と同じ趣味の人が多いかもと思った。
- 大阪に対しての歴史や個々のまち等の学習ができて良かった。
- それなりに歴史を知っていたつもりでも、いっぱい新しいことが紹介されていて、勉強になりました。



プレ講座

## 「屋台」=「場」を妄想しよう!

～屋台という考え方を通して、自分のやりたいことを考えてみよう～

「自分の場をつくるラボ ～アウトプットからはじめよう～コース」のプレ講座として、全国の新しい屋台の事例やおもしろさを聞き、自分ならどんな屋台をやりたいかを考えました。

**日時** 8/21 木曜日 19:00～21:00 全1回 **参加者数** 23名 **会場** 総合生涯学習センター

**講師** 今村 謙人 カモメ・ラボ 代表/合同会社ルツポ 代表社員/橋ノ上ノ屋台 共同店主

### 受講者の声 (アンケートより)

- アウトプット(実践)について、気づかされました。
- 屋台の色々を教えてもらい夢が広がりました。
- 皆さんの色んなアイデア屋台を共有できてとっても楽しい時間でした。



やりたい屋台を考えるワークショップ

# 本科「自分の場をつくるラボ ～アウトプットからはじめよう～コース」

## 主任講師からのメッセージ

アウトプット、アウトプット、アウトプット……

今回の講座で、この言葉を何回口にしたいでしょうか。

「自分の場をつくるラボ ～アウトプットからはじめよう～コース」という名前で、はじめて講座を担当させていただきました。

アウトプットとは何なのか。なぜアウトプットするのか。アウトプットすると、どうなるのか。

講座はレクチャーだけでなく、毎回必ず「この1週間にあったこと」をみんなで話すこと（アウトプット）からスタートしました。そしてレクチャーの後には、必ず発表や表現を通じた実践のワークショップを行いました。

自分の中にある考えや想いを外に出してみる。すると、自分でも気づいていなかった興味や、自分の特徴が見えてくる。そこからまた、必要なものをインプットしに行く。

そんな アウトプット → 気づき → インプット → アウトプット というサイクルを、講座全体を通して繰り返してきました。

アウトプットを考えるうえで大切にしていたのが、「屋台の考え方」です。

1. 自分がおもしろい 2. 完成を目指さない 3. 小さく、やわらかなビジョン 4. いつやめてもいい

これは正解ではなく、あくまで一つの考え方です。でも、こうした考え方を持つことで、「はじめの一步を軽やかに」することはできていると思います。

世の中の状況がめまぐるしく変わる中で、がっちり構えず、流れに合わせて泳げるようなスタイル。屋台の考え方は、そのためのやわらかな方向性です。

今回のテーマは、「アウトプットから場をつくる」こと。

総合フェスタに向けて、屋台“的”なものを、いちようカレッジのみなさんが、事前に集めてくださった段ボールなど、身の回りにある素材でつくり、そのツールを通してお客さんとやりとりをしながら、どんな場が仮設的に立ち上がるのかを体験してもらいました。

屋台“的”なものを使って一時的に場をつくること。それもまた、一つのアウトプットであり、通過点にすぎません。

やってみることでしか、見えてこないことがあります。自分の得意なこと、苦手なこと。楽しさや、しんどさ。

そうした経験を通して、あらためて自分を見つめ直し、それぞれの暮らしの中に持ち帰ってもらえたらうれしいです。

いつやめてもいい。そのくらいの気持ちで、まずはやってみる。

これからも。



主任講師  
今村 謙人



本科①

## 自分の場をつくるラボ ～アウトプットからはじめよう～コース

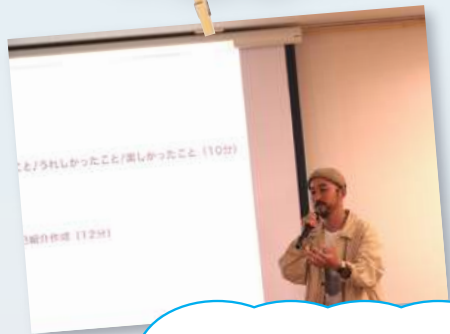
ラボの実験のようにアウトプットを重ねながら自分を深掘りし、  
屋台を使った自分なりの「場」をつくりました。

日時 10/2～12/11 毎週木曜日 19:00～21:00 全12回  
※11/23は曜日・時間が異なる

参加者数 17名(のべ144名) 会場 総合生涯学習センター

1	10/2	オリエンテーションと自己紹介 自己紹介紙芝居で、お互いのことを知る	今村 謙人 カモメ・ラボ 代表/ 合同会社ルツボ 代表社員/ 橋ノ上ノ屋台 共同店主
2	10/9	屋台という考え方 屋台という考え方を学び、その考え方にまつわるエピソードを出し合う	
3	10/16	自己紹介チャートワークショップ ゲスト講師と一緒に自己紹介チャートとクイズを作成し、 さらにお互いのことを知る	今村 謙人 【ゲスト講師】 石田 尚也 株式会社粋ワークショップ 事業部 ディレクター
4	10/23	アウトプットするってなんだろう？ 自分の持っているものを屋台に載せてみて、「場」がどう生まれるかを体験する	今村 謙人
5	10/30	アウトプットで場が生まれる？ 第4回までのアウトプットを通じて、改めて屋台で何をやりたいかを考える	
6	11/6	屋台の実践を考える 屋台のデザインの考え方を学び、第9回でどんな屋台をやるかを考える	
7	11/13	屋台(ツール)をつくる・仕組みを組み立てる① 屋台出店の心得や段ボールの扱い方を学び、 第9回に向けて屋台をつくり始める	
8	11/20	屋台(ツール)をつくる・仕組みを組み立てる② 第9回に向けて屋台をつくる	
9	11/23 (日・祝) 9:00～16:30	イベントに出店しよう つくった屋台で、総合生涯学習センターのイベント「総合フェスタ」に出店	
10	11/27	ふりかえり	
11	12/4	第9回の出店をふりかえり、つくった屋台を紹介しながら感想を共有	
12	12/11	次の場へ この講座を受けて、次はどんなことをしたくなったかを発表	

# 講座風景



講師のレクチャーからインプット



いろいろなアウトプットを重ねる



ゲスト講師と一緒にアウトプット



屋台をつくる



ふりかえり

# 実践発表

自分なりの「場」を考え、つながりを生み出す屋台をつくり  
総合生涯学習センターのイベント「総合フェスタ」に出店しました。



## 受講者の声 (アンケートより)

- 毎回アウトプットしたり、人の話を聞くのが勉強になった。
- 屋台の考え方・マインド(とりあえずやってみる)がとても勉強になりました。
- 実際に屋台を出してみても、お客さんの反応を見ることができておもしろかった。

# 本科「大阪の魅力発信コース」

## 主任講師からのメッセージ

例年の「大阪の魅力発信コース」ではゲスト講師を3名ほど招へいして、多種多様多彩な大阪の魅力発信（アウトプット）の方法を学ぶ…という講義が含まれていました。しかし令和7年度はゲスト講師の招へいはなしでカリキュラムを組むことになり、「まち歩きフォトスゴロクを作りましょう」というアウトプットのみが提示されました。例年よりも全体の講義内容がシンプルになったので、受講者のみなさんもやる事が定まっています、わかりやすいカリキュラムになったかなと思います。そのせいでしょうか。今年は3つのチームが出来上がり、「空堀」「喜連環濠」「平野郷」の3つのエリアを取り上げてくれましたが、例年に比べると、スピーディーにまち歩きフォトスゴロクが完成したな…という印象があります。

「空堀」は僕もよくまち歩きをしています、空襲被害に遭わなかったので戦前大阪の長屋建築などがよく残り、昭和レトロな街並みが人気です。まち歩きフォトスゴロクのツアーでは、新しくモダンにリノベーションされた「萌」（ほう）、「練」（れん）、「惣」（そう）の3つの長屋を巡って、受講者のみなさんも非常に興味深く話を聞いている姿が印象的でした。また昆布の土居さんと、鯉節の丸与さんなども訪れて、からほり商店街の店を巡るのも好評で楽しかったようです。

「喜連環濠」は、なかなか足を運んだことがある人は少ないかも…という非常にマニアックで通好みなエリア（僕は大好きですが!）ですが、じつは呉（クレ）が訛ってキレ=喜連になったといいますが、国の渡来人が訪れて住み着いたという伝承があるほど、長い歴史を有していて、いろんな物語が宝庫のまちだったりします。普段あまり訪れたことがなく、なんのイメージもなかったエリアでも歩いてみると、いろんな発見があって、みなさん、喜連環濠への興味関心が膨らんだのではないのでしょうか。「また今年度、友達を連れてじっくりと歩いてみたいです」とおっしゃられた受講者がいて、嬉しいお言葉でした。

「平野郷」は大阪を代表する環濠集落で、まちづくりにも意欲的なエリアで、普段からまち歩きツアーも多いエリアです。実際にツアーで歩いていると、あちらこちらで「これはなんの団体さん?」とお声掛けをされました。受講者のみなさんには、町ぐるみ博物館や全興寺さんの地獄・極楽めぐりなど大人気でしたが、とくに平野郷の老舗和菓子の梅月堂さんのご主人から直々に店の歴史や和菓子の説明などがあって、これは素晴らしい学びの時間となりました。

毎回、講義を始める前は、どんなまち歩きフォトスゴロクが出来上がって、受講者のみなさんはどんなツアーをやるのかな?と楽しみにしているのですが、今年も非常にレベルの高い、充実した大阪の魅力発信のアウトプットがなされたように思います。これからも自分たちで主体的に、能動的に、大阪のまちの魅力を情報発信する人になっていただけたらと思います。



主任講師  
陸奥 賢



本科②

## 大阪の魅力発信コース

まちの魅力を掘り起こすための講座・グループワークや、まち歩きスゴロクの作成・まち歩きガイドの実践を通し、大阪の人とまちの魅力を伝えるエディターを育みました。

**日時** 11/11～2/24 毎週火曜日(11/25、12/30、1/6・27、2/10を除く)  
14:00～16:00 全11回

**参加者数** 18名(のべ181名) **会場** 総合生涯学習センター

- 11/11 **オリエンテーション/まちの魅力の見つけ方**  
カリキュラムの説明、受講者同士の自己紹介/  
まちの魅力を発見するためのポイントを解説
- 11/18 **まち歩きに出かけよう** **フィールドワーク**  
主任講師によるガイドでまち歩き(北浜周辺)
- 12/2 **あなたが見つけた「まちの魅力」**  
まちを調査して、自分が発見したまちの魅力を話し合うグループワーク
- 12/9 **まち歩きスゴロクについて/まち歩きガイドのコツ**  
過去の「まち歩きスゴロク」紹介、  
スゴロク制作・ガイド実践の説明・ポイントを解説
- 12/16 **【グループ活動】まち歩きスゴロクの制作①**  
グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作
- 12/23 **【グループ活動】まち歩きスゴロクの制作②**  
グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作
- 1/13 **【グループ活動】まち歩きスゴロクの制作③(完成)**  
グループに分かれてまち歩きスゴロクの制作
- 1/20 **フィールドワーク**
- 2/3 **【最終発表】チャレンジ！まち歩きガイドの実践**  
各グループが作成したまち歩きスゴロクを使って、  
現地でまち歩きガイドに挑戦
- 2/17 (1班:喜連環濠周辺、2班:平野郷周辺、3班:空堀周辺)
- 2/24 **振り返り・まとめ**  
完成したまち歩きスゴロクを眺め、  
各グループのガイドで印象に残ったポイントを共有

陸奥 賢

観光家/  
コモンズ・デザイナー/  
社会実験者

# 講座風景



オリエンテーション



主任講師によるまち歩き



グループワーク



まち歩きスゴログ制作



まちの魅力を語り合う



# 実践発表

グループに分かれて気になるまちを取材し、まちの魅力や見どころを詰め込んだ「まち歩きスゴロク」を作成し、それぞれのコースでまち歩きを行いました。

## 1 班

「喜連環濠と気になるスポット」



## 2 班

「ひらのGO!!平野郷」



## 3 班

「レトロモダン空堀」



## 受講者の声 (アンケートより)

- 先生のお話良かったです。あと、グループワークも、いろんなところから皆さん来られていて、話が聞けて良かったです。
- 色々調べて、調べたことを他の人に教えることの難しさ、グループで調べて発表することの楽しさを味わえた。

# 本科「まちづくり探求ゼミ～持続可能なまちづくりとは～」

## 主任講師からのメッセージ

年を重ねるごとに、参加者の意識の変化を感じています。

これまでは、社会貢献や助け合いの大切さを問い、「地域にさまざまな課題があるのに見て見ぬふりはできない」と、責任感の強い方が参加される印象がありました。しかし近年は、「暮らしやすい地域のために自分は何ができるか」「まだ自分のやりたいことははっきりしないけれど、自分にもできるのだろうか」と、地域の課題を自分ごととして考え、主体的に活動したいという好奇心の高い方が増えてきたように感じています。そして、年代も様々。今年は高校生やビジネスパーソン、シニアなど幅広い世代が多く参加されておられました。

本講座では、まちの課題を知り、手法を学び、ともに考え、それぞれの地域に持ち帰って振り返るというプロセスを重ねています。立場や経験を越えた対話の中から、予定調和ではない学びが自然に立ち上がってきていることに、この講座の大きな価値を感じています。

最近では、「まちづくりがしたい」と地域に飛び込んでこられる方も増えていますが、私は講座の中でもお伝えしましたが、まちづくりは特定の団体や開発事業者だけが担うものではなく、誰もが当事者として関わり、学び続けながら、まちを育て成長する営みそのものだと考えています。住む人や、社会状況が変われば、課題もまた変化します。だからこそ必要なのは、学び続ける姿勢。そして同時に、これまでの前提や思い込みを問い直し、必要に応じて手放す「学びほぐし(アンラーン)」も、これからの時代には欠かせない視点ではないでしょうか。

私自身、昨年度は大阪府教育庁を通じて社会教育主事講習を受講し、社会教育士の称号を取得しました。社会教育士は、地域における学びと実践をつなぎ、対話と協働をコーディネートする専門人材であり、私もまた、防災やまちづくりの現場と「学び」を結びつけながら、社会課題の解決に寄与できる存在として活動していきたいと考えております。

そのためにも、自身の強みをさらに活かすために、今年は何を学び、どのように地域の皆さまと共有していくかを問い続けることが、私にとっての大切なテーマであり、それはこのいちょうカレッジという実践的な学びの場があってこそ生まれているものです。最後になりましたが、講座の企画・運営、調整等に日々ご尽力くださっているセンターの皆様に、心より感謝申し上げます。



主任講師  
山田 摩利子



本科③

## まちづくり探求ゼミ～持続可能なまちづくりとは～

フィールドワークやワークショップを通して、持続可能なまちづくりについて一緒に考えました。

**日時** 12/6～1/24 毎週土曜日 10:00～12:00 (12/27、1/3を除く) 全6回  
※12/13、1/10は10:00～12:30

**参加者数** 13名(のべ61名) **会場** 総合生涯学習センター

1 12/6

### まちづくりとは？

まちづくりの概要を学び、自分の生活とまち(地域社会)の関係について改めて考える

山田 摩利子

一般社団法人うめらく  
代表理事/  
株式会社tippo 代表取締役

2 12/13

### フィールドワーク

～グラングリーン大阪編～ **フィールドワーク**  
グラングリーン大阪を歩き、都市型のまちづくりを体感する

山田 摩利子

【ゲスト講師】  
土橋 純  
沼野 良太  
独立行政法人都市再生機構

3 12/20

### 持続可能なまちづくりに必要なこととは？

まちづくり活動における「仲間づくり」「場づくり」「資金計画」について学ぶ

4 1/10

### フィールドワーク ～中津編～ **フィールドワーク**

中津を歩き、商業と住居が混在する地域でのまちづくりを体感する

山田 摩利子

5 1/17

### まちの課題にどうやって取り組む？

フィールドワークで得た情報をもとに、地域の特徴や問題点を整理し、まちの課題に対してどのように取り組むことができるかを考える

6 1/24

### 持続可能なまちづくりのアイデアを考えよう

地域で自分ができること・やりたいことをイメージして、自分なりのまちづくりのアイデアを考える

# まちづくり講義



まちではどんな人が暮らしているか、仲間づくりに何が必要か等を話し合い、発表

# フィールドワーク



グラングリーン大阪



中津



## まちの分析



フィールドワークで得た情報をもとに、まちを分析

## アイデア発案



キーワードやコンテンツが描かれたカードを使用して、まちづくりのアイデアを発表

## 受講者の声 (アンケートより)

- 基本的な考え方からフィールドワークまで、幅広い視野でまちを考えるきっかけになった。
- フィールドワーク・ワークショップ・講義のバランスがよく、楽しむことができました。



専科①

## みんなで支えあうマンション防災コース

マンションやアパート等における防災の基礎知識や取り組み方を知り、さまざまな人がいる集合住宅で災害時に備えるための必要な考え方を学びました。

**日時** 7/26～8/30 毎週土曜日(8/9・16を除く) 14:00～16:00 全4回

**参加者数** 26名(のべ87名) **会場** 総合生涯学習センター

1 7/26

### 集合住宅における防災の進め方

災害時の集合住宅の被害の特徴や防災課題を知り、マンションにおける防災をどのように進めていくかを学ぶ

生田 英輔  
大阪公立大学  
都市科学・防災研究センター 教授

2 8/2

### 誰ひとり取り残さないために -日常のつながりと防災-

要配慮者の方々が抱える課題や個別避難計画について学び、平時からの住民同士のつながりについて考える

野村 恭代  
大阪公立大学  
都市科学・防災研究センター 教授

3 8/23

### 使ってみよう!『OSAKA防災タイムアタック!』

大阪市立総合生涯学習センターと神戸学院大学が共同で開発した市民向け防災学習プログラムの体験

総合生涯学習センター職員

4 8/30

### やってみよう! 「マンション在宅避難訓練(地震編)」

災害時を想定したマンション防災シミュレーションの体験

山田 摩利子  
一般社団法人うめらく 代表理事/  
株式会社ippo 代表取締役/防災士



地震発生時の行動を考えるワークショップ(第2回)



OSAKA防災タイムアタックの体験(第3回)



マンション防災シミュレーションの体験(第4回)

## 受講者の声 (アンケートより)

- 今のマンションに住んで10年以上経つが、あまり災害について話し合いがありません。今後、確認も含めて防災についてやっていきたい。
- 住民の思いをまずきく姿勢が大切だと思った。物資や情報が届いているか考えなあかんと思いました。想像力、ですね。
- 広い実践に基づいた情報でとても参考になりました。



## こどもと地域社会コース

子どもたちを取り巻く状況や生活について学び、地域住民として地域の子どもたちと、どのように関わる事ができるか、一緒に考えました。

**日時** 11/12～11/26 毎週水曜日 10:00～12:00 全3回

**参加者数** 25名(のべ51名) **会場** 総合生涯学習センター

1 11/12

### 子どもたちを取り巻く状況と地域社会の関わりについて

現在の子どもたちを取り巻く状況や生活について知り、子どもたちに対する地域社会の関わりや役割、学校と地域の協働について学ぶ

柏木 智子  
立命館大学 産業社会学部 教授

2 11/19

### 地域での子ども支援の活動について

地域で取り組まれている子ども食堂や学習支援、不登校支援などについての活動事例と、地域の支援機関に來ている子どもたちの様子について学ぶ

島田 大作  
特定非営利活動法人  
関西こども文化協会  
こども支援事業部 部長

3 11/26

### 地域の子どもたちとの関わり方や接し方について

地域住民として地域の子どもたちと、どのように関わる事ができるのかを考え、実際に地域で子どもたちと関わる際の接し方について学ぶ

川口 裕之  
NPO法人Kid'sしほけっと 理事長



子どもたちを取り巻く状況についての説明(第1回)



地域での子ども支援の活動についての事例紹介(第2回)



受講者同士で意見共有(第3回)

### 受講者の声 (アンケートより)

- いろいろな視点からの気づきがありました。
- あわただしい日々から立ち止まり考える時間をもてました。
- 様々な思いの人が集まっていることが良かったです。



## 市民活動団体応援コース

仲間集めや情報発信、資金集めについてなど、市民団体やグループの活動に生かせる様々なヒントを学びました。

**日時** 11/28～12/19 毎週金曜日 19:00～21:00 全4回

**参加者数** 18名(のべ59名) **会場** 総合生涯学習センター

1 11/28

共感を得られる団体へ  
仲間・支援者集めのポイントを知ろう

活動に関わる仲間を増やし、定着につなげるためのポイントを学ぶ

岡本 卓也

有限責任事業組合  
まちとしごと総合研究所  
レジリエンス・シンカー/  
京都市東山いきいき市民活動センター  
センター長

2 12/ 5

継続した活動へつなげるために  
グループ内の関係づくりを考えよう

団体やグループのリーダー・メンバーとして意識したい、  
それぞれの役割や心がまえを学ぶ

3 12/12

今から始める！  
Instagramを使った広報のススメ

Instagramを使った情報発信の基本や、  
より良い発信のためのポイントを学ぶ

山中 美知世

NPO法人やさしいデザイン  
グラフィックデザイナー

4 12/19

活動をステップアップさせるために  
知っておきたい資金調達のこと

団体やグループで資金調達を進めるための流れや、  
助成金の申請について学ぶ

岡本 卓也



仲間集めや定着のためのポイントを学ぶ(第1回)



Instagramを使った情報発信の  
基本を学ぶ(第3回)



グループで意見交換(第4回)

### 受講者の声 (アンケートより)

- 助成事業の申請の仕方 ファンドレイジングの事など教えて頂いた事に感謝。
- ふり返りになり再出発しようと決心した。
- グループワークを通してみなさんがどんな活動をしているか、具体的に知る機会になった。



# まちづくりプロジェクト共創コース

応募時にまちづくりのアイデアや企画を提出していただいた上で、その企画を  
実践するにはどうすればよいか、講師や他の受講者と一緒に考えました。

**日時** 2/6～2/27 毎週金曜日 19:00～21:00 全4回

**参加者数** 9名(のべ31名) **会場** 総合生涯学習センター

1	2 / 6	<b>プロジェクトの軸を考えよう</b> 自分のやりたいこと、強み(スキル)、何のためにするのか、 何を大切にしたいのか、どんなまちが理想か…などを整理して、 活動や企画の軸を考える	山田 摩利子 一般社団法人うめらく 代表理事/ 株式会社ippo 代表取締役
2	2 / 13	<b>プロジェクトの実践に向けて</b> 企画を実践するためには具体的にどのようにすればいいのか、 事例を通して学び、新たなアイデアも出しながら考える	
3	2 / 20	<b>プロジェクトの発表</b> プロジェクトを発表し、主任講師とゲスト講師から 実践に向けての具体的なアドバイスをもらう	山田 摩利子 【ゲスト講師】 時任 啓佑 さくらインターネット株式会社 九谷 一彰 UDS株式会社 事業企画部マネージャー/ QUINTBRIDGEコミュニケーター
4	2 / 27	<b>プロジェクトのブラッシュアップ&amp;今後に向けて</b> 第3回のアドバイスをふまえて企画案をブラッシュアップする また、今後の実践を見据えて意識したい視点を学ぶ	山田 摩利子



やりたいことや得意なことを  
キーワードに自己紹介(第1回)



まちづくりプロジェクト発表会(第3回)



今後の活動について発表(第4回)

## 受講者の声 (アンケートより)

- プロジェクト工程表や整理シートに書き出すことで明確になっていったことがとても良かったです。
- 今まで学ぶだけだったが、やっと形になりそうです。
- 実際に活動・企画をされている方からのフィードバックが有難かった。



専科⑤

## あべので考える 2,3人からできそうな企画づくりコース

阿倍野区での事例をヒントに、少人数でもできそうなまちづくりについてグループに分かれて企画づくりを行い、最終回ではその企画をプレゼンしました。

日時 9/24~10/15 毎週水曜日 19:00~21:00 全4回

参加者数 15名(のべ47名) 会場 阿倍野市民学習センター

1	9 / 24	<b>あべののまちの面白い地域資源を知ろう</b> あべのでつながりをつくる「あべのって」のメンバーが新旧入り混じる建物や風景、つながる場など、あべのの魅力を紹介	平川 隆啓 地域コーディネーター 【ゲスト講師】 大森 昌子、岡本 祐紀 あべのって
2	10 / 1	<b>自分に「できそうなこと」から企画を考えよう</b> 地域でのプロジェクトの企画・運営の実績を持つ講師から企画のつくり方、アイデアの出し方について学ぶ	平川 隆啓 【ゲスト講師】 梅山 晃祐 ついたちレコード/ プロジェクトファシリテーター/ 京都芸術大学 アートプロデュースコース 非常勤講師
3	10 / 8	<b>イメージや妄想を企画書にしよう</b> 自身のやりたいこと、できることを持ち寄って企画づくりのグループワーク	平川 隆啓
4	10 / 15	<b>地域で「2,3人企画」!全体でプレゼンしよう</b> 各グループが企画をプレゼン	平川 隆啓



自分が思うあべのの魅力紹介(第1回)



企画のつくり方(第2回)



企画のプレゼン(第4回)

### 受講者の声 (アンケートより)

- 参加者の方々のユニークな企画を見る事ができた。
- 4回という限られた時間で集中して学ぶことができた。
- 企画にのり気な方が多くてとても良い機会だと思いました。



## まちと関わるきっかけコース 淀川区編

地域とアートに触れるフィールドワークや、現場の声を聞く講座を通じて、知らなかったまちの魅力を再発見し、地域カルタを作りました。

日時 11/8～11/29 毎週土曜日 10:00～12:00 全4回

参加者数 16名(のべ52名) 会場 難波市民学習センター

1 11 / 8

### まちの関わりを知る

まちで活動したときの困り事や課題について話し合い、大喜利で課題を解決してみる

藤田 ツキト

株式会社シカトキノコ 代表取締役/  
近畿大学 文化デザイン学科 非常勤講師

2 11 / 15

### まちで焼き芋を焼く フィールドワーク

新東三国小学校で防災イベントに参加し、地域活動の話を聞く

藤田 ツキト

【ゲスト講師】  
増田 裕子  
大阪市淀川区 新東三国地域活動協議会  
副会長/  
大阪公立大学  
都市科学・防災研究センター 客員研究員

3 11 / 22

### まちのアートに触れる フィールドワーク

「十三アートフェス2025」を訪れ、地域とアートの関わりを体験する

藤田 ツキト

4 11 / 29

### まちでカルタを作る

フィールドワークの思い出を語り合い地域カルタを作る



小学校で焼き芋(第2回)



「淀壁」を眺める(第3回)



地域カルタで振り返る(第4回)

## 受講者の声 (アンケートより)

- まちに出かけてその地区の人と交流できた。
- 参加者同士の交流も多く、知識の詰め込みではない所が良かったです。
- グループワークの場が多くてたくさんお話できたのが楽しかった。

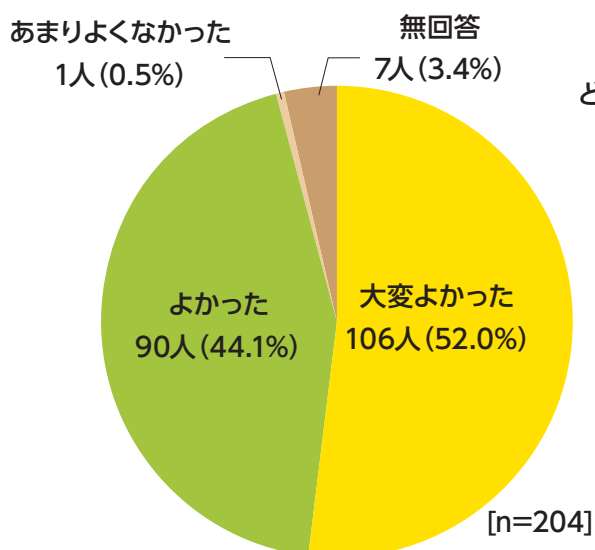
# 【令和7年度 いちょうカレッジ アンケート集計結果】

## いちょうカレッジ受講実績

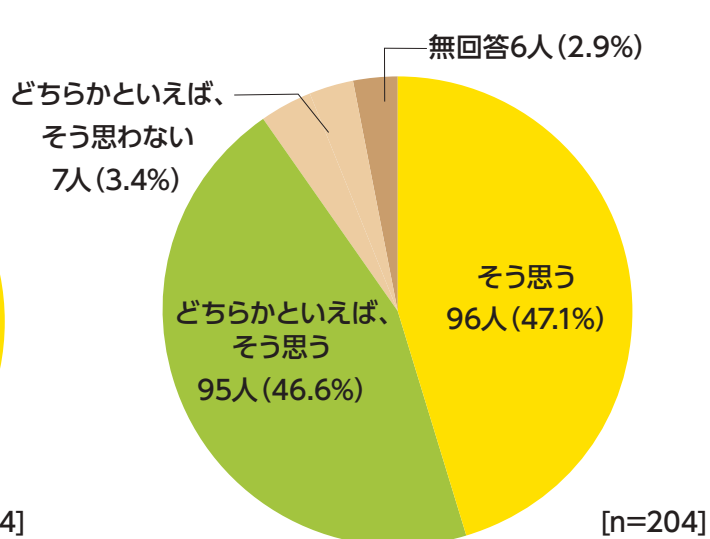
	コース名	定員	応募者数	受講者数	のべ受講者数
入門科	まちづくり入門コース ～まちづくりってなんだろう？～	30人	37人	23人	23人
	大阪を語ろう ～好きやねん大阪～コース	30人	34人	26人	49人
プレ本科	大阪の魅力発見コース	20人	59人	26人	89人
プレ講座	「屋台」＝「場」を妄想しよう！ ～屋台という考え方を通して、自分のやりたいことを考えてみよう～	30人	36人	23人	23人
本科	自分の場をつくるラボ～アウトプットからはじめよう～コース	20人	28人	17人	144人
	大阪の魅力発信コース	20人	19人	18人	181人
	まちづくり探求ゼミ～持続可能なまちづくりとは～	20人	23人	13人	61人
専科	みんなで支えあうマンション防災コース	20人	36人	26人	87人
	こどもと地域社会コース	30人	26人	25人	51人
	市民活動団体応援コース	20人	20人	18人	59人
	まちづくりプロジェクト共創コース	10人	19人	9人	31人
	あべので考える2、3人からできそうな企画づくりコース	20人	18人	15人	47人
	まちと関わるきっかけコース 淀川区編	20人	20人	16人	52人
合計		290人	375人	255人	897人

	講座・イベント名	定員	申込	参加
オンラインライブ配信	まちづくり入門コース ～まちづくりってなんだろう？～	30人	20人	14人

**Q** 講座の満足度はいかがでしたか？

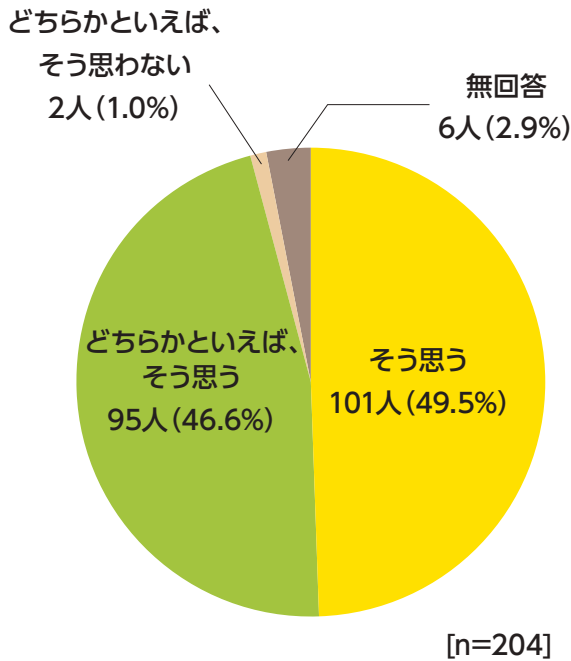


**Q** 今後のボランティア活動やグループ・地域活動に学んだことを生かしたいと思いましたか？

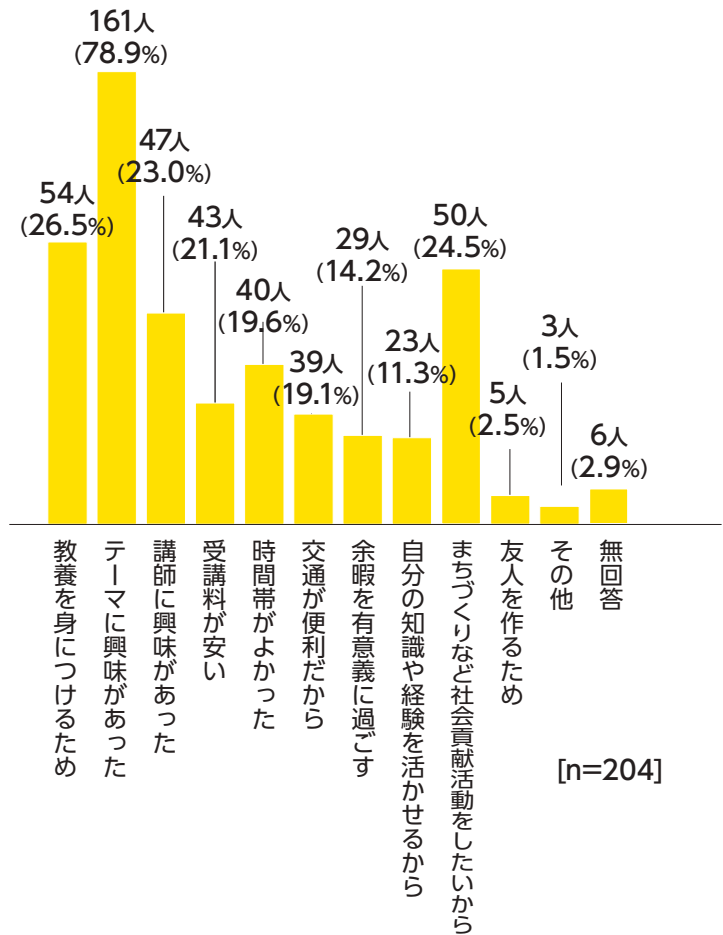




この講座を通して学んだ内容や関係するテーマなどについて、引き続き学習を続けたいと思いますか？



受講動機はなんですか？



## 受講者の声 (アンケートより)

- まちづくりについて、自分から動くきっかけができた。
- コロナ以後、人とのつながりがなかったので、今回参加して楽しかったです。
- いろんな人と関わる機会があって、新しいアイデアや考え方がたくさん見つかりました。

## 令和8年度 いちょうカレッジの募集について

令和8年度のいちょうカレッジのご案内は、総合生涯学習センターのホームページ・SNSや、大阪市内の市民学習センター・区役所・区民センター・図書館等で配架予定の総合パンフレット・各コースの個別チラシをご覧ください。



### いちょうカレッジ ホームページ

<https://osakademanabu.com/college>



### いちょうカレッジ Facebook ページ

<https://www.facebook.com/icho.college.OSAKACITY>



## お問い合わせ



### 大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500(大阪駅前第2ビル5・6階)

TEL:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019

<https://osakademanabu.com/umeda/>

開館時間 午前9時30分～午後9時30分(日・祝は午後5時まで)

休館日 毎月第1・第3月曜日/年末年始(12月28日～1月4日)

令和7年度 大阪市生涯学習まちづくり市民大学  
「いちょうカレッジ」報告書

編集・発行 大阪市立総合生涯学習センター  
(指定管理者:一般財団法人大阪教育文化振興財団)  
大阪市北区梅田1-2-2-500

発行日 令和8年3月



# いちよう カレッジ

OSAKA CITY

● 主催 ●

大阪市立総合生涯学習センター  
(指定管理者: 一般財団法人大阪教育文化振興財団)